TECNO トヨタサービス

サービス技術情報 整備編

GX-0004-1/2

1990. 3. 20

E-SX80, 80Y系　E-GX81系　E-YX80, 80Y系　Q-LX80, 80Y系　　P, A, V店

標題　トヨタ　マークII，チェイサー，クレスタ修理書の内容訂正のお知らせ

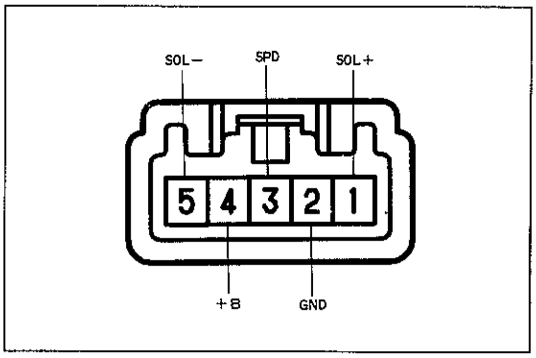
トヨタ　マークII，チェイサー，クレスタ修理書下巻（品番62113，1988年8月発行）の内容に誤りがありましたので訂正いたします。

部位　P11-75,76　パワーステアリングエレクトリカルコントロールのトラブルシューティングの不具合現象別フローチャート訂正

1	アイドリング時ステアリング操だ力が大きい（据え切りが重い）

パワーステアリングとしての作動をしている場合（若干パワーアシストをしている場合）は，フローチャートに従って点検を行う。パワーステアリングとしての作動をまったくしていない場合は，油圧点検（P11-5参照）を行う。

- ソレノイドバルブは正常か（P11-77参照）
  - NO → ソレノイドバルブ不良
  - YES ↓
- P/Sコンピューターを取りはずす（コネクターは接続しておく）IGスイッチをONにする
- P/Sコンピューター⑤端子↔ボデーアース間の電圧は0.1～0.5Vか
  - YES → 油圧系統不良
  - NO ↓
- P/Sコンピューター④端子↔ボデーアース間の電圧は10～14Vか
  - NO → P/Sコンピューター用電源回路不良（ワイヤハーネス，ヒューズ，ヒュージブルリンク）
  - YES ↓
- IGスイッチをOFFにする
- P/Sコンピューターのコネクターを切り離す
- P/Sコンピューター②端子とボデーアース間の配線は正常か
  - NO → P/Sコンピューター用アース配線不良
  - YES ↓
- P/Sコンピューターの車両W/H側コネクター①↔⑤端子間の抵抗値は6～11Ωか
  - NO → P/Sコンピューターとソレノイドバルブ間配線不良
  - YES ↓
- P/Sコンピューター不良



K6535

無断複製禁止

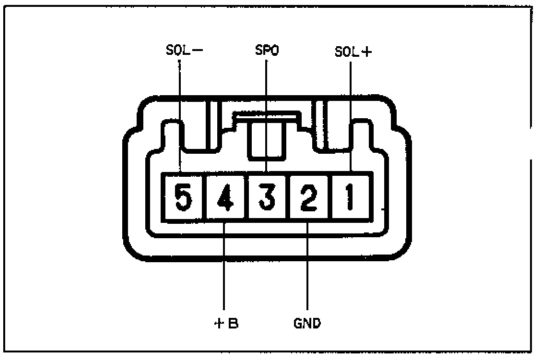
2 車速が上がってもステアリング操だ力が大きくならない

アイドリング時の据え切り操だ力が大きいか（P 11-7参照）

- NO → チャート1を点検する
- YES ↓

ソレノイドバルブは正常か（P 11-77参照）

- NO → ソレノイドバルブ不良
- YES ↓



K 6535

車両をスピードメーターテスターにセットして，P/Sコンピューターを取りはずす（コネクターは接続しておく）

↓

走行中P/Sコンピューター③端子↔ボデーアース間の電圧は，1.5V以下↔4.5V以上の繰り返しとなっているか

- NO → P/Sコンピューターおよびコンビネーションメーターのコネクターを切り離す（アナログメーター P 13-45, 46参照），（デジタルメーター P 13-63, 64参照）
  - ↓ スピードセンサーは正常か（アナログメーター P 13-52参照）（デジタルメーター P 13-69参照）
    - NO → スピードセンサー不良
    - YES ↓
  - P/Sコンピューターとコンビネーションメーター間の配線は正常か（アナログメーター P 13-45, 46参照）（デジタルメーター P 13-63, 64参照）
    - NO → P/Sコンピューターとコンビネーションメーター間配線不良
    - YES → P/Sコンピューター不良
- YES ↓

P/Sコンピューター⑤端子↔ボデーアース間の電圧は正常か

基準値

車速	電圧
0 km/h	0.3～0.5 V
100km/h	上記電圧マイナス 0.1～0.3 V

- NO → P/Sコンピューター不良
- YES ↓

P/Sコンピューター②端子とボデーアース間の配線は正常か

- NO → P/Sコンピューター用アース配線不良
- YES ↓

ソレノイドバルブ不良

無断複製禁止